

社会福祉法人 育和会 『子どもは科学者』

1.2歳の子どもは、好奇心旺盛です。日々の生活の中で、目に移るさまざまな物に興味を示し、目を輝かせて遊んでいます。この時、五感をフル回転させ『どうしても知りたい!』『やってみたい!』と夢中になり、時間や周囲の友だちの事なんて忘れて遊び続けます。乳幼児の子どもは生活全てが遊びであり、その中の体験から様々なことを学んでいます。この意欲こそが工夫と知恵を生み、根気強さの育ちにつながっています。研修で聞いた『子どもは科学者』そのものです。私達保育者は、子どもたちのわくわくする発見や知りたいという好奇心が満たされるように、心地のよい生活と時間的余裕を保障し、一人ひとりがその子らしく成長できるように見守り、共感していく保育を行っていきたいと思います。

(久万こども園 保育教諭 松下 昭子)



『ほほえみあいからうれしい会話へ』

園での子どもたちの1日は、保育者とのほほえみあいから始まります。毎朝、子どもたちと目と目やしぐさとしぐさを合わせ、言葉と言葉を重ねていき少しずつうれしい会話へと膨らませていきます。

それは子ども同士も同じで、にっこりとほほえみあいからうれしい会話・楽しい会話へと膨らんでいく様子がみられます。子ども同士のやりとりの中には、かわいらしさがプラスされ、味わいが加わって、園内は、うれしい会話に包まれ幸せな空間になっています。

(おひさま保育園 主任 鈴木 奈帆)



『ねえねえ何して遊ぶ?』

久万こども園(幼保連携型認定こども園)

『一年の計は元旦にあり』

「一年の計は元旦にあり」ということわざがあります。

一年の計画は年の初めである元旦に立てるべきであり、何事もまず初めに計画を立てることが大事であるという意味です。

こども園では、年間、月、週の計画を立てて

います。今年度は特に『子どもはお話を聞く静の時間も大好きです。』『流れる日課づくり』を大切にしています。毎日同じ時間に同じことをすることで、子どもは全体の流れの中で次に何をするかを理解するようです。3歳以上の子ども達とは、毎朝一日の日課を確認しています。保育教諭と遊びの相談をする楽しい時間でもあります。

そうすることで、子ども自身が、一日の生活に見通しがつき、自分からどんどん行動し落ち着いて過ごすことができるようになりました。

「日課づくり」は子どもを安定させ健康に導く基本だと実感しています。

(主幹保育教諭 村田 由美)



『子どもはお話を聞く静の時間も大好きです。』



『今日はお部屋でみんな遊びをしたいと思いますか?』

NIKO NIKO 館(児童館)

『薪ストーブ』

オレンジ色のゆらゆら揺れる炎になんとも癒される薪ストーブ。いつも薪ストーブの周りには読書やカードゲームをしたり、炎をぼんやりと眺めてまったりと過ごす児童の姿があります。12月にはNIKO アートギャラリーの展示スペースとして、まるで美術館のように作品が並ぶ情景にマッチして、部屋の中をゆっくりと時間が流れている穏やかな空間を演出してくれました。

久万高原町の厳しい寒さをしのぐために欠かせないNIKO NIKO 館の冬のシンボルです。

(児童厚生員 渡部 梨香)



『冬のシンボル登場!!』



『NIKOアートギャラリー』



『まるで美術館!?!』

放課後子ども教室 【学校・家庭・地域連携推進事業】

『パワーキッズ』

毎月第1水曜日 NIKO NIKO 館そらの部屋にて、アゼリア体操クラブの山下先生ご指導のもと、パワーキッズを行っています。1～3年生までの13名が登録しており、柔軟体操、マット運動、鉄棒、縄跳び、跳び箱など全身を使ったプログラムで運動神経の向上、体幹やバランス感覚などを鍛えながら、楽しく体を動かしています。



『精神統一』



『目指せ!オリンピック』

NIKO NIKO クラブ(学童保育)

『遊びは元気パワー!!』

NIKO NIKO クラブの子ども達は寒さに負けず元気いっぱい過ごしています。雨さえ降っていなければ外へ飛び出し鬼ごっこが始まります。

1、2年生がしているなと思うと次々と参加者が増えてい

き気づけば

4、5年生

も所狭しと

走り回って

います。赤

い頬に息弾

ませて見て

いるこちら

にも元気が

伝わってきます。室内

で最近よ

くしているのが回り将棋。春に「回り将棋って何？」と駒の投げ方やルールを教えてあげた児童と久々に対戦したところ、驚くほど強くなっ

ていて、軽く負けてしまいました。

研究に研究を重ね、練習してきたんだなと感心

し、子どもの成長のすばらしさを実感しました。



『名人対決!!』



『最初はグー、ジャンケンポン』

(放課後児童支援員 大野 敏子)

Happy House

『イヤイヤ期 どう乗り切る!?』

2歳前後に現れるイヤイヤ期。どうして子どもがイヤイヤをするのでしょうか。

子どもが「イヤ」と言い続けるのは、「これは違う」という気持ちから「あれもやりたい、これもいい」という思いが膨らむからです。これは子どもの心の成長のひとつであり、いろいろなことが分かり始めている証拠でもあります。しかし言葉はまだ未発達なので、具体的な言葉に表して主張することができず、「イヤ」という言葉で表現してしまうのです。

そこで、子どもが「イヤ」と言ってきたときに「何がイヤなの? どうしたいの?」と聞いてあげること、具体的に「くつが履きたかったのね。車が欲しかったのね。」のように子どもが求めていたことを言葉にしてあげること、子どもは「自分の要求を受け止めてもらえた」と確認でき、気持ちが落ち着きます。こうしたやりとりを重ねていくことで、自分はこうしたかったんだという気持ちに気づき、言葉の発達とともに自分の思いを言葉にできるようになります。すぐには難しいですが大丈夫!! 子どもの成長を楽しみに意思疎通の練習と考えていきましょう。

(センター長 山内 はづき)



『あっ!アオムシマン』



『待て、まてー』



『ね、これなーに?』

家庭教育支援 久万高原 Happy サポート

『気持ちを伝えるクリスマスリース ～講師：井上 泉先生 (ハーブインストラクター)・香りの保育～』

ローズマリーはハーブの中でも最も育てやすく初心者向きと言われています。ベランダやお庭でも簡単に育てることができます。栽培のコツは適度な剪定をして風通しをよくし、新芽の成長を促すこと。新芽は料理やお茶で楽しむことができます。爽やかな香りは集中力や記憶力を高める効果もあります。そんなローズマリーをたっぷり使ってクリスマスリースを作りました。作り方は簡単です。

10cm ぐらいに切ったローズマリーの枝を一定方向に、ワイヤーを使ってリースベースに巻き付けていきます。最後にリボンなどを使ってデコレーションすると完成です。

リース作りの醍醐味は、作品を仕上げていく楽しみとリラックスして作る時間を楽しむこと。部屋いっぱいに広がるローズマリーの香りに包まれて、親子でゆったりとしたひとときを過ごしました。

(子育てサポーター 今井 久美子)



『ママ～これちょーだい』



『ローズマリーの香りに包まれて』



『ママと一緒に』



月	火	水	木	金	土	日
● 久万こども園 ● Happy House ● NIKONIKO 館 ● つどいの広場 ● 保健センター				1 ● 年始休み ● 年始休み ● 年始休み ● 年始休み ●	2 ● 年始休み ● 年始休み ● 年始休み ● 年始休み ●	3 ● 年始休み ● 年始休み ● 年始休み ● 年始休み ●
4 ● ● ● ● 年始休み ●	5 ● ● ● ● ●	6 ● たいそう ● ● パワーキッズ ● 年始休み ●	7 ● ● ふれあい制作 ● ● ●	8 ● みるきいらんど ● ● ● 開館スタート ●	9 ● ● ● こっこん・コットン ● ●	10 ● ● ● ● ●
11 ● ● ● ● 開館 ●	12 ● 和太鼓 ● ● ● ●	13 ● たいそう ● ● フラダンス・笛ヶ滝 day ● 健康相談 ●	14 ● ● ミニふれあい広場 (10:30 ~ 11:00) ● ● ●	15 ● ● コーラス ● ● NIKO 館の先生と遊ぼう ●	16 ● ● 開館日 ● Cook ドゥドゥル ● ●	17 ● ● ● ● ●
18 ● ● ● ● ママの製作 ●	19 ● ● ● ● ●	20 ● たいそう ● ● 笛ヶ滝 day ● 開館 ●	21 ● ● ふれあい制作 ● ● ●	22 ● ● ● ● 開館 ●	23 ● ● ● ● ●	24 ● ● ● ● ●
25 ● ● ● ● 木育ワークショップ ●	26 ● ● ● ● ●	27 ● たいそう・お茶 ● ● フラダンス・笛ヶ滝 day ● 開館 ●	28 ● ● ミニふれあい広場 (10:30 ~ 11:00) ● ● ●	29 ● ● コーラス ● ● 開館 ●	30 ● ● ● ● ●	31 ● ● ● ● ●



『もしも一願いが
叶うとしたら
何を願う』



長野 沙弥香

子供達が小さい頃に戻りたいです。保育園の子どもたちを見ながら、我が子達も可愛い時があったなとしみじみ。たくさんぎゅーしてたつもりだけど、もっとしとけばよかったな。



大野 明香音

コロナウイルスが治まり、普通の生活が出来るように魔法で戻せたらうれしいです。旅行に行ったり友だちとご飯に行ったりと早くしたいですね。



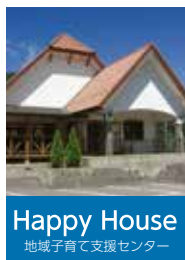
若本 理恵

もしも願いが叶うとしたら、ドラえもんと一緒に暮らせますようにお願いしたいです。本当に叶ったら、どんなに楽しいか想像するだけでワクワクします。



久万こども園
幼保連携型認定こども園

〒791-1201
愛媛県上浮穴郡
久万高原町久万1447
TEL:0892-21-0777
FAX:0892-21-0772
hoiku@ikuwa.or.jp



Happy House
地域子育て支援センター

〒791-1201
愛媛県上浮穴郡
久万高原町久万1444-5
TEL:0892-21-3192
FAX:0892-21-3191
sien@ikuwa.or.jp



NIKONIKO 館
児童館

〒791-1201
愛媛県上浮穴郡
久万高原町久万1457-1
TEL:0892-21-2335
FAX:0892-21-3222
niko@ikuwa.or.jp



おひさま保育園
企業主導型保育園

〒790-0012
愛媛県松山市湊町
8丁目120-1
TEL:089-943-2120
FAX:089-943-2135
ohisama_hoikuken@ja-e-chuo.or.jp

